

## 体育館に美しいフルートの調べ流れる

11月8日、入間川地区会の「初活動」として、フルート鑑賞会を開催しました。地区会員90名及び各理事に声がけしたところ、29名の参加があり、地区活動の良きスタートとなりました。演奏は市内在住の横山聡子さんによるフルート演奏と、ご友人の山口庸子さんによるキーボード伴奏をお願いしました。正直、プロの方に対しては、金額的に厳しい条件でのオファーでしたが、活動の趣旨に賛同してくださりご快諾頂きました。



「さやま楽友会のネームバリュー」を感じると共に、オファーにあたり「当たって砕けろの精神」の大切さも感じました。選曲はクラシックから歌謡曲まで幅広く、年代問わず楽しい時間を過ごせました。MCで「次が最後の曲です」と紹介があった時に、一同から「え？」と戸惑いの声が漏れるほど、あっという間に予定の50分が過ぎ去ってしまいました。



横山さんからも「全集中で演奏を楽しんでくれていることが伝わってきて幸せだった」とコメントを頂きました。フルート演奏を通じて、会員の一体感を感じる時間となりました。(やばせ一郎)

## 良いものはいつまでも残り、愛され続ける

コロナ禍で長い自粛生活が続いていましたが、今日は「いきがい学科の会」の企画で、久しぶりのお出掛けができました。参加者21名。秋晴れの続く中、この日だけは曇天でしたが、歩くには良かったです。桜の名所である有名な小金井公園の中に、今日の目的地「江戸東京たてもの園」があります。入場料は高齢者特権が適用され160円。展示された家を一軒一軒チェックする人、建物内の昔の展示品に見入る人、座ってお話を楽しむ人……、皆それぞれです。懐かしいチンチン電車に乗り、昔の思い出話に花が咲きます。良いものはいつまでも残り、人々から愛されるもの……。桜の季節になったら皆さん方も一度観に行かれてはいかがでしょうか。お勧めです！さて、次は「茶の里ウォーキング」。(いきがい学科報告より)

小金井公園に向かう朝の新狭山駅。通勤通学時間帯は外れていたが、ホームは意外と人が多い。立つつもりで乗り込んだ車内は予想通り混んでいる。座席の前に立つと20歳ぐらいの青年が席を譲ってくれた。私は「立つつもりで乗っています」と言いかけたが、これはルール違反だと気付き頭を下げ、「ありがとう」と言って座った。私が定めたルールとは、「席を譲られた時、①感謝して座る②躊躇は禁物③譲られた時と降りる時、合わせて2回礼を言う」ことだ。青年は一つ手前の小平駅で降りたが、私に軽く会釈して去って行った。私は2回目のお礼を青年に返した。ルール通りの対応が出来た嬉しい気持ちで皆の待つ花小金井駅に降りた。(中嶋とおる)



下町中通り商店街



常盤台写真場



三井八郎右衛門邸

# クラブ活動推進委員会報告

2022年11月10日



第2回の会合では、岸田副会長からさやま楽友会（さやま市民大学同窓会）ホームページリニューアルの状況についての説明会をしていただきました。現在のホームページと対比しながらの説明でしたが、新ホームページについては、見やすさ、内容、レイアウト等非常に好評で、公開への期待も高まりました。

今後の課題として、①さやま楽友会のホームページにいかに入りやすくするか ②クラブ会員募集とのかかわりをどうするか ③「YouTubeの活用」等が話し合われました。1月には各クラブの代表の方に説明する機会を設け、2月初旬に公開できればとの結論でした。今は視覚に訴える時代。新しいホームページは簡単に写真や動画で活動を見られるようリニューアル中です。どうぞお楽しみに！



## 『散歩の醍醐味』 尽きない冒険⑦・・・入間川流域地形散歩の終焉

由緒ありそうな笹井白鬚神社付近に車を駐車し、説明看板に目を通して社を参拝した。神社の右側のなだらかな坂を登って行くと笹井小学校があり、この地域が笹井地区の中心と考えられる。西側丘陵の麓の小道に沿って歩を進めて行くと、丘陵の傾斜は非常に緩やかで住宅地が多く、僅かに雑木林が点在していた。しばらく歩いて圏央道をくぐると左側にファミリーマートがあり、その前の国道299の交差点を横切って小道を直進すると、傾斜の緩い畑地帯となっていた。笹井2000番地となっており、すぐ目の



の前に入間市の住宅地が見える。狭山市と入間市の境界で、東側に丘陵が視界に入る。入間市の鍛冶丘陵と思われる。このあたりは入間川の流れが急峻で、蛇行が少なく、川の流域が狭くなっている。

散歩の醍醐味、尽きない冒険として、①から⑦に亘って、狭山市の南北を流れる入間川が浸食した流域の東西両丘陵の麓を散歩してきた。新聞で知った凸凹に注目して歩く地形散歩の方法である。コロナ禍で、暖かみ溢れる人との交流が制約される現在、ひとり散歩を重ねていると、奥深く、無限に変化する大自然（風景）の豊かさに感嘆することが多い。今まで気付かなかった小鳥・昆虫・草花・樹木などの、そつがなく、したたかで我慢強い生態の新発見に驚嘆し、感動する機会が増えた。コロナ禍が与えてくれた数少ない恩恵であろう。入間川流域の地形散歩はこれで終焉とするが、何時の日か別の観点からの散歩に出かけてみたいと考えている。  
(松本功さん)



## ちょっといい は・な・し

『楽友会水富地区会』が、ほんのささやかな社会貢献をしました！

先日、水富地区会が狭山台の子ども食堂にこんにやく7kgほどを寄贈。食堂側では早速写真のような素敵なお弁当の一品に加えてくださいました。地区会有志一同、とても嬉しく、感謝申し上げます。写真を送っていただいたので、皆様にもお知らせしたくなりました。

